

「まちの魅力に関する高校生意識アンケート」の結果（まとめ）

	報告書ページ (図表番号)
1. 高校生の日常	
(1) 休日に出掛ける場所は小倉駅周辺が多く、オシャレに関心がある層は、天神地区にも行っている。	P12 (図表 9) P13 (図表 10)
(2) 高校生が好きな店は、フランチャイズ店が多い。 ジ アウトレット北九州の人気の高い。	P15 (図表 11)
(3) 遊園地・テーマパーク、娯楽施設、商業施設を求めている。	P17 (図表 12)
2. 高校卒業後の進路等	
(1) 半数以上が、大学進学を希望。就職・就業は15%弱。	P19 (図表 13)
(2) 卒業後も市内居住を希望するのは40%。本市への愛着度の高さが市内居住につながり、愛着度が低い層は東京圏に流れる傾向。	P21 (図表 15) P23 (図表 18) P42 (図表 34)
(3) 市外に出る主な理由は、希望する進学・就職先がある。オシャレへの関心や都会志向がある層は、福岡市居住の希望が高まる。	P24 (図表 19) P22 (図表 16) P25 (図表 20)
3. 就職・職業観	
(1) 医療・福祉・介護職や公務員の希望者が多い。就きたい職業は、男女で割合が大きく異なる。	P28 (図表 23)
(2) 製造業は全体的に見ると希望する割合は低いが、「卒業後も市内に居住して就職」という進路希望の層では、割合が30%を超えて最多。	P28 (図表 23) P31 (図表 26)
(3) 起業志向では第1次産業や金融系、安定志向では製造業や公務員を希望する傾向。	P34 (図表 28)
(4) 起業、専門性や能力を生かせる仕事、情報通信系を希望する人は、東京圏を目指す傾向。福岡市の居住希望者も、その傾向に近い。	P34 (図表 28) P27 (図表 22) P31 (図表 25)
4. 北九州市への愛着・親しみ	
(1) 高校生の約85%は、北九州市に愛着・親しみを感じている（ある程度も含む）。感じる理由は、「生まれ育った場所」が最多。	P41 (図表 33) P44 (図表 35)
(2) 市に愛着・親しみを感じない理由 ○行きたい店や場所が少ない⇒女性、門司・若松区居住者に多い （八幡東区居住者は低い） ○まちが衰退している ⇒小倉北・戸畑区居住者に多い	P48 (図表 38)
(3) 田舎である、衰退している、イベントや店が少ないと感じている層は東京圏を志向し、将来的にも北九州市に戻らない傾向。	P48 (図表 38)
5. 都市の魅力・イメージ	
(1) 女性は、福岡市に魅力を感じている割合が高い。	P50 (図表 39)
(2) オシャレに関心がある層では、北九州市に魅力を感じず、東京圏に魅力を感じる割合が高まる。	P51 (図表 40)
(3) 都市の魅力として割合が高い「将来性・発展性」「便利で生活しやすい」「治安がよく安全安心」「働きたい仕事がある」「娯楽が多い」の点で、現在の北九州市に抱くイメージと乖離がある。	P58 (図表 46)
(4) 特に女性は、都市の「治安と安全安心」を求め、20年後の北九州市に期待することでは「教育・子育て環境の充実」の割合が高い。	P54 (図表 42) P68 (図表 59)